

学生時代、先達から学んだ  
環境保全に対する姿勢

大学のとき、倉本聰さんやC Wニコルさん、椎名誠さんらがつくった環境団体「CCC自然・文化創造会議／工場」の活動に参加しました。そこでは、植林や水辺の生物調査、環境教育コンクールなどのお手伝いをし、本当に勉強になりました。人間さえよければいいのではなく、地球上に生きているすべての生物が共存していく、そういう本質的なところを教えていただいた気がします。

例えば、ニコルさんの「四季のある日本は、多様な生物が生きている豊かな国土。そこに住んでいる日本人が、植物の名前が分からなくなるなんて、もったいないよ」という言葉。それが

五感で感じたい自然、  
その体験が環境意識を育む

日本テレビの人気アナウンサーとして、同局の看板番組『ズームイン!! SUPER』や『24時間テレビ「愛は地球を救う」』の司会を務めた西尾由佳理さん。

学生時代に環境活動に参加して以来、日テレ時代にも番組内のエコ担当キャスターに志願するなど、環境に関心をもち続けてきました。若い世代の環境意識を高めるにはどうすればいいのか、働く女性として、また二人の母親としてのお考えを伺いました。

西尾 由佳理 さん

など、自然を体感することも大事だと思います。先ほどお話ししたCCCでは、環境教育コンクールで優秀だった学校の生徒を環境先進国・ドイツに招待したのですが、そこには土の上をはだして歩くプログラムがありました。自分の足で大地に触れ、景色を見て、空気を感ずる…。そういう原体験が大人になつてから生きてくるのではないのでしょうか。

最近の若い世代には農業をやるうとか、古い家をリノベーションして大切に使うといった動きもあり、環境や循環型社会に興味がないわけではありません。彼ら彼女らがさらに前に進むには、テレビやネットではなく、実際に自然に触れて自分で感じる事が一番だと思います。CCCの活動やリポーターとして各地を訪れる中で、特に忘れられないのが白神山地のブナ林。ちょうど秋で、染まった木々は鮮やかで美しく、地面は積もった枯れ葉でふかふか。まるでスポンジの上を歩いているようでした。そんな自然の素晴らしさを感じるとともに、環境を守るために自分は何ができるのか、一歩先を考えてほしい。それが具体的なアクションにつながると思うのです。

私たちは経済発展した社会の恩恵を受けていますが、同時に地球に生かされている「生物」という認識を持つてほしいですね。子どもが生まれてからはなおさら、美しい景色やおいしい空気を残してあげたいし、子どもたちに見て感じてもらいたいと思うようになりました。私自身、例えば洗う前にお皿の汚れを拭くとか、できる限り長く使えるものを選ぶなど小さなことしかできていませんが、そんなコツコツした積み重ねも大切だと感じています。

女性の家事の負担が多かったこれまでの家庭での環境活動も女性に頼るところが大きかった気がします。これからは家族みんなで環境に貢献できるようにすることが大事だと思います。でもリードしていくのは、まだ妻やお母さんの役目かもしれないですね！

ら、CCCの活動の一環でドイツの環境教育の現場を訪ねたとき、現地の小学校の先生が「エコロジーとエコノミーとカルチャー、この3つがうまく共存しなければならぬ。そのためにもどうすればいいかを考えることが大事」と言っていたのも印象に残っています。

流行をつくり出し消費させることで、右肩上がりの経済成長を実現する。しかし、それは環境破壊につながる…。私自身、マスコミで働く中で、ある意味、消費をおおる側にいるのではという矛盾を感じたことがあります。だからこそ、チャンスがあれば、本当の豊かさとは何かという問題提起ができればいいな。そんな思いもあり、『ズームイン!! SUPER』ではエココーナーを提案し、その担当キャスターに就くことができました。

忘れられない自然体験は  
白神山地のブナ林

日テレ時代、出前授業(日テレ出張エコ教室)に出掛けて驚いたのは、子どもたちの意識が高く、よく勉強していたことです。子どもがゴミの分別をするようになれば、親もやらざるを得ないので、子どもへのアプローチは効果的。考えてみると、私たち大人はきちんとした環境教育を受けているわけではありません。大人こそ環境教育が必要なのでは、と思っただけです。

また、学習だけでなく、おいしい空気とか美しい景色

西尾由佳理(にしお・ゆかり)  
1977年千葉県生まれ。東京女子大学現代化学部卒業後、2001年日本テレビ入社。『スポーツMAX』のアシスタントを務めた後、2005年から7年間『ズームイン!!SUPER』の女性司会者、ならびに『24時間テレビ「愛は地球を救う」』の総合司会を担当。11年日本テレビを退社後、フリーに。学生時代から環境問題に関心があり、環境団体「CCC自然・文化創造会議／工場」の活動に参加。日本テレビアナウンサー時代にも雑誌『ソコト』に環境に関するコラムを執筆していた。07年に『ズームイン!!SUPER』でエコ担当キャスターに就任、08年にはeco検定に合格。

Yukari Nishio



日テレ時代の「こどもエコ教室」の様子

感動の地・白神山地のブナ林で